

令和2年1月21日14時00分
資料配布 近畿地方整備局

近畿地方整備局管内から選ばれた 魅力ある地域づくり 3 団体 に認定証を授与します
～ 1 月 28 日 令和元年度 手づくり郷土賞^{ふるさと} ～

本年度の手づくり郷土賞に、近畿地方整備局管内から優れた取り組みとして、一般部門 3 件が選定されました。

今回、一般部門に選定された 3 件の受賞案件に対し、下記のとおり認定証の授与式を執り行います。

■認定証授与式の概要

日 時 2020 年 1 月 28 日(火)14 時 30 分～
会 場 近畿地方整備局(合同庁舎第 1 号館)
第 1 別館 2 階 203 共用会議室
主な次第 1)主催者及び来賓の挨拶
2)認定証授与
3)記念撮影

※手づくり郷土賞の概要は、参考資料をご覧ください

■認定証を授与する取組は下記 3 件です。

選定団体 : 綾部バラ会(京都府・綾部市)
件 名 : 市民が守り育てるバラ園

選定団体 : 久宝寺寺内町まちづくり推進協議会(大阪府・八尾市)
件 名 : 久宝寺寺内町みんなで作る燈路まつり

選定団体 : 平原区自治会むらづくり委員会、下市町(奈良県・下市町)
件 名 : みんなで取り組む、薬草とハーブのむらづくり

■当日は取材可能です。

開式までに、会場にお越し下さい。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、京都府政記者室、
奈良県政・経済記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 企画部 企画課 寺尾、大西
TEL 06-6942-1141 (内線3151、3153)、06-6942-4090 (夜間)

認定証授与式の概要

手づくり郷土賞は、地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和 61 年度に創設され令和元年度で 34 回目となる国土交通大臣表彰制度です。

手づくり郷土賞選定委員会での選定を経て、本年度は優れた取組 24 件（一般部門 20 件、大賞部門 4 件）が手づくり郷土賞として選定されました。その中から、近畿地方整備局管内からは一般部門 3 件が選定されています。

今般、近畿地方整備局管内から選定された 3 団体に対し、手づくり郷土賞認定証の授与式を下記のとおり執り行います。

1. 日時

2020 年 1 月 28 日（火）14 時 30 分～

2. 会場

近畿地方整備局（大阪府大阪府中央区大手前 1-5-44）
第 1 別館 2 階 203 共用会議室
（詳細は、資料 1 をご覧ください）

3. 主な出席者

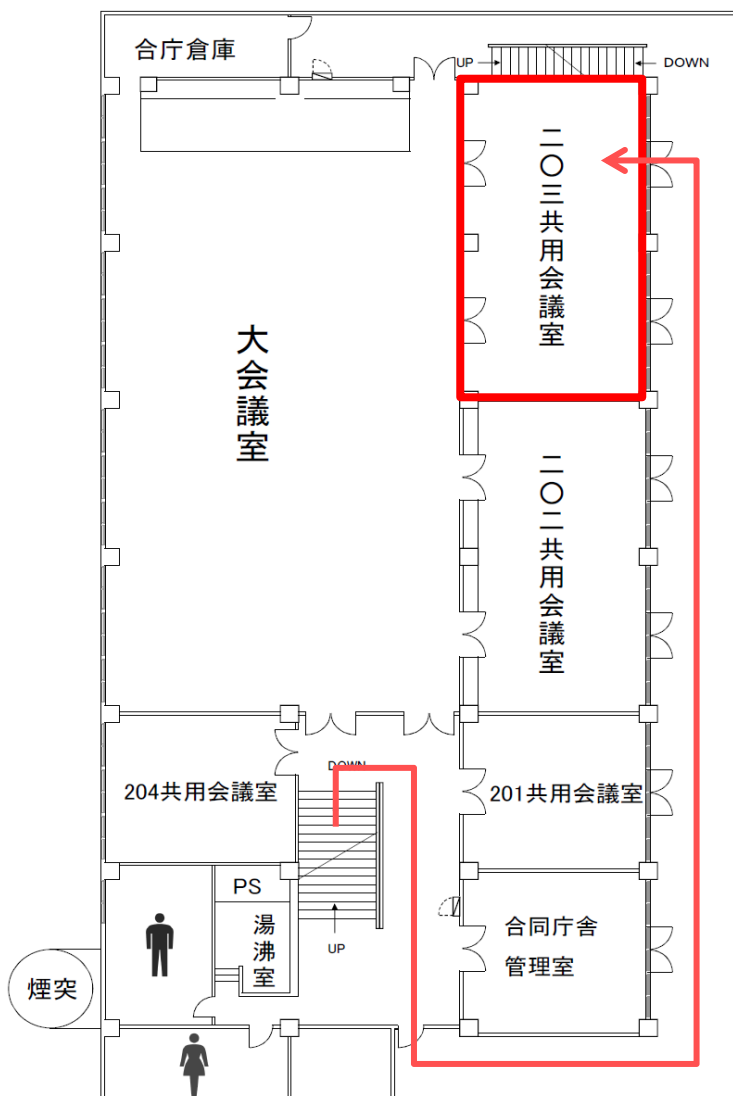
綾部バラ会副会長
久宝寺寺内町まちづくり推進協議会理事長
平原区自治会むらづくり委員会委員長
下市町長
近畿地方整備局長
（各選定団体の活動内容については、資料 2 をご覧ください。）

「手づくり郷土賞」認定証授与式 会場のご案内

地下鉄谷町線/京阪電鉄 天満橋駅下車、3番出口より東へ徒歩100m



【第1別館 2階 配置図】



会場は、合同庁舎第1号館の第1別館2階 203共用会議室になります。第1別館にはセキュリティゲートは設置されていないので、そのまま入館できます。

一般部門 受賞

市民が守り育てるバラ園

綾部バラ園

活動内容

綾部市制施行60周年記念事業として整備され、平成23年に「綾部バラ園」開園。同年、バラ園を継続して管理運営する「綾部バラ会」が設立されました。登録ボランティアにより除草や花ガラ摘み等を毎週実施する他、春と夏の年2回、バラまつりを開催。現在、120種類・1,200本のバラが咲いており、令和元年春のバラまつりには79,096人の入場者があり、バラ園を軸に綾部市への観光客が増加することで市の活性化に貢献しています。



綾部バラ園とあやべ特産館



綾部バラ園で咲くバラ



市民ボランティアの剪定作業



近隣幼稚園の散歩や遠足にも利用

一般部門 受賞

久宝寺寺内町みんなで作る燈路まつり

久宝寺寺内町まちづくり推進協議会

活動内容

寺内町は歴史資源やまちなみ、大水路、環濠も一部当時のまま残っており、それらの景観など良さを活かした地域づくりを情報発信するため、当該協議会を立ち上げ、燈路まつりを中心に様々な活動を行っています。毎月1回の清掃活動の他、燈路まつりの前には、地元の小・中学生と一緒に道路や環濠、大水路の草引き・清掃を実施。燈路まつりではその道路や大水路にみんなで燈籠の飾り付けを行って町の名所として賑わっています。燈路まつりの規模も年々大きくなり、来場者数は第1回を開催した時に1,000人だったが、第9回の実績は7,000人を超えています。



小学生との大水路の掃除



大水路に咲いた花菖蒲



燈路まつりで大水路の橋に並べた燈籠

子どもも大人もひとつになって
燈路まつりを準備

みんなで取り組む、薬草とハーブのむらづくり

平原自治会むらづくり委員会、下市町

活動内容

平原地区は江戸時代から、薬草栽培が盛んな集落でしたが、人口減少・少子高齢化が進み、農業の衰退とともに耕作放棄地が増えていました。そこで、住民一丸となって、もう一度活気のあるむらづくりに取り組むことを決心し、平成25年から県道沿線を中心に耕作放棄地でのハーブや花を植栽。そのハーブの栽培・収穫・加工で耕作放棄地を解消、花等による道路景観の向上、新たな特産品が創出され、平成27年に開店したピザハウスは毎回約160枚のピザが売り切れるほどの来店があり、活気と賑わいの創出など、県道を中心に地域づくりが進んでいます。



県道沿いに植えたハーブの摘み取り



住民参加で建設されたピザハウス



収穫前のレモングラス



収穫・加工したハーブティーを袋詰め

国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」とは

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和元年度で34回目。

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定しました。

手づくり郷土賞選定委員会（令和元年度）

委員長	鈴木 伸治	横浜市立大学国際教養学部教授
委員	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
委員	河野 まゆ子	株式会社 J T B 総合研究所 主席研究員
委員	関 幸子	株式会社 ローカルファースト 研究所 代表取締役
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室 アドバイザー ／一般財団法人コレゾ財団 代表理事
委員	福井 恒明	法政大学 デザイン工学部 教授

（敬称略）

◆全体スケジュール（令和元年度）

